



京都・丹波・吉富ノ庄憲章

私達の住んでいるところに誇りを持つよう
私達の住んでいるところをより良くしよう
なぜならここは 地球上に一つしかない
大切な場所だから
共に学び合い 喜びを感じよう
共に助け合い 潤いのある時間を持つよう
そのために 自分ができる範囲のことを
精一杯しよう
そして 吉富から絆の輪(和)を広げ続けよう

《京都新聞掲載 2015年11月24日付「丹波版」》



「吉富ノ庄」の門柱銘板を除幕する関係者ら
(南丹市八木町)

「吉富ノ庄 銘板除幕式」

吉富ノ庄オープニングイベント

好天の下、六百人余の来場者でスタート!!

今年八月二十九日に実行委員会を立ち上げて以来、四回の実行委員会と四回の運営委員会を開催し、準備を進めてまいりました。「吉富ノ庄オープニングイベント」は心配された雨も降らず、好天のもと、約六百人余の来場者を迎え開催することができました。

吉富ノ庄運営委員会はもとより、区長会、八木西小PTA、民生児童委員、各区老人クラブ、手づくり市のメンバー、消防団、若者代表、体振、広報等々多くの人々の一致団結した協力のもと、無事終了することができました。また、多くの文化展出展者の協力にも深く感謝します。

記念式典に先立ち、八木中学校吹奏楽部の元氣なオープニング演奏があり、引き続き記念式典が南丹市長佐々木稔納氏、並びに八木町の市議会議員、区長会長を来賓に迎え開催されました。式典終了後は、門柱の銘板「吉富ノ庄」の除幕式を行い、新たな歴史の第一歩がスタートされました。

広がる輪

ふれあいサロンに 田島征彦文庫開設予定

今回、サイン入りで寄贈を受けた絵本・文庫等は、ふれあいサロンの一角に「田島征彦文庫」を創設し、末長く皆様で楽しんでいただきたいと思います。

オープンについては、ミニイベントを開催したく考えています。

＜寄贈された絵本＞



田島征彦氏から絵本(サイン入り)プレゼントされる!

＜1階廊下の作品＞



今回のオープニングイベントに華を添えていただきました田島征彦氏の作品の特別展覧は、室河原区の山口均氏のご尽力により実現したものです。

吉富地区だけでなく、神戸、京都、亀岡と多くの人々の来場があり、ダイナミックな絵に入場者一同は圧倒されました。

廊下と三年生の教室に展覧された絵、更に南丹市図書館から借り受けた田島征彦氏の絵本、エッセイ等三十六冊の展示も同時にさせていただき、子供達が楽しそうに手にとり見ている姿が見られました。特別展覧も十一月二十七日正午まで開催され、ゆっくと見学される人々が訪れていました。



＜工房での写真＞
山口均氏提供

十二月一日、山口均氏と広瀬会長が淡路島の田島征彦氏のアトリエまで作品を返しに行きましたところ、大変感激していただき、二十三冊の絵本とエッセイの寄贈を受けました。

「地域の力京都」

メディアアラ

京都府地域力再生プロジェクト支援事業で「特別編集版」を発行された南廣瀬区の広瀬之宏氏が小学校閉校へ至る経過を映像に残し、後世に伝えていく義務があるとの強い意志で本に書くだけでなく、昨年一年間の“吉富小学校の運動会・閉校の集いを初め同窓会等”あらゆる機会をとらまえて、ドキュメントとして141年の吉富小学校の歴史を当時の社会情勢に合わせ記録映画としてまとめられました。

これを2回にわたり旧JA1階セミナー室で映写したところ、佐々木市長を初め多くの方が来場され、立ち見の出る盛況でした。

まだ多くの方が見ておられないと思いますので、後日ミニ映画会を開催したく考えています。

吉富小学校一四一年
記録映画会

にぎわいいっぱい・・・

花・野菜市、手づくり食品、手づくり工芸品等20店集合

“ゴミゼロ”をキーワードに地元野菜、無農薬野菜、焼きそば、たこ焼き、串カツ、弁当、パン等と出店され、多くの人が買い求められ、昼過ぎには全て完売され、私達スタッフの食べるものがなく、2時頃あわてて弁当を買い求めるというエピソードもありました。

皆様のご協力により後始末でゴミの散乱はゼロでした。ありがとうございました。

< 喫茶 >



< 吉富ノ庄の看板と野菜市 >



12時30分から総勢30名による千代川太鼓の力強い響きでステージ演奏がオープンされました。

3人の南丹娘のかわいい歌声、そしてトリは、地元室河原区の関大介&マーシーの元気なパフォーマンスに会場の皆も手拍子でこたえ、持ち時間を超える熱のこもった演奏に沸き上がりました。

< 城山共同作業所による竹の粉碎デモ >



< 二九精密機械工業(株) >



< 関大介 & マーシー >



< 南丹娘 >



< 千代川太鼓 >



手のぬくもりが伝わる

木のオモチャ

亀岡市の武内征男さんは、孫が産まれるたびに一つずつ自分でカラクリを考え、自分の手で木を刻み作りあげられた。“ゲームで育った子供達”も本当のオモチャにふれ、楽しそうに遊んでいました。

< 子供のオモチャ >



< 西田さんの百人一首 >



88歳の西田トヨノさんの手づくり百人一首は素晴らしいものでした。自分で句を詠み、その句にふさわしい絵を描き、下の句をもう一枚別の札にひらがなで書き、裏をきれいな紙で貼り合わせられたものです。一枚作るにも大変なものが百枚作られていた逸品であり、元気をもらえる作品でした。

草木染・面・木像・篆刻・編み物・写真・洋画・日本画・押し花・盆栽・書・刺繍・和布リフォーム・手芸品・子供会地蔵盆手づくりウチワ等々本当に楽しい作品が並び、吉富地区にも多才な人々が多くおられることに皆がびっくりし、また、それらを展示される際には作品についての楽しい話し合いがされ、吉富地区に長い間住んでいても今回初めて話ができ、本当に良かったと絆の輪が一つまた一つと広がっていくのを肌で感じるここのできた文化展でした。

< 文化展 >

